

令和4年度第2回経営協議会議事要録

日 時 令和4年6月9日(木)10時00分～12時11分
場 所 宇都宮大学本部第一会議室
出席者 池田, 入江, 大川(直), 大川(容), 岸本, 北村, 角, 松下,
藤井, 吉澤, 横田, 佐藤, 鈴木の各委員
陪 席 溝口監事, 富田監事, 松金副学長,
藤原地域デザイン科学部長, 中村国際学部長, 加藤共同教育学部長,
入江工学部長, 山根農学部長

議事に先立ち, 令和4年度第1回経営協議会議事要録(案)を確認し, 承認した。

[審議事項]

1. 法人評価(第3期中期目標期間終了時評価)における実績報告書について

藤井理事から, 資料1に基づき, 法人評価(第3期中期目標期間終了時評価)における実績報告書について説明があり, 審議の結果, 原案のとおり承認した。

(主な意見)

・特記事項で優れた点として挙げられている, 中期計画1-1-1-6 基盤教育英語プログラムにおけるTOEIC点数の向上の達成率が非常に高い点について, 目標に対して正しいプロセスを踏んであるため, 結果が出てきたのかと思う。今回のプロセスについて, 具体的にどういったことを実施したからプラスになったのかという部分を, 今後とも活用しながら各計画を実施していきたい。

2. 認証評価における自己評価書について

藤井理事から, 資料2に基づき, 認証評価における自己評価書について説明があり, 審議の結果, 原案のとおり承認した。

3. 経営協議会から選出する学長選考・監察会議委員について

総務部長から, 資料3に基づき, 経営協議会から選出する学長選考・監察会議委員について説明があり, 審議の結果, 原案のとおり承認した。

4. 土地の有効活用の推進について

佐藤理事から, 資料4に基づき, 土地の有効活用の推進について説明があり, 審議の結果, 原案のとおり承認した。

(主な意見)

・コロナ禍となり, 世界的に変化が起きている中, ディスrupterといわれるデジタルテクノロジーを活用することによって無軌道なビジネスモデルを破壊する企業が, 次に餌食にするのが大学だと言われている。その中で, 危機感を持って様々なことを推進できるのは, 当事者である宇都宮大学以外にはいないと思う。

土地の活用について、民間業者から意見を聴く手法は、魅力的なアイデアだったとしても、土地の活用という長期的な契約であることを踏まえ、しっかりと大学としてビジョンを持って進めていただきたい。

(本学：本学が栃木県宇都宮市の地域の知の拠点である高等教育機関として、どう生き残っていけるのか、存在し得るのかということを念頭に置いて、教育プログラムや人材育成ということと同様に物理的な施設設備についても短絡的な検討にとどまらず、重々注意しながら進めていきたいと考えている。)

5. 令和3年度決算(案)について

財務部長から、資料5に基づき、令和3年度決算(案)について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

[報告事項]

1. 令和3年度資金運用状況について

財務部長から、資料6に基づき、令和3年度資金運用状況について報告があった。

2. 令和3年度卒業・修了者の進路状況について

吉澤理事から、資料7に基づき、令和3年度卒業・修了者の進路状況について報告があった。

3. 令和4年度宇都宮大学監事監査計画について

溝口監事から、資料8に基づき、令和4年度宇都宮大学監事監査計画について報告があった。

4. 令和3年度国立大学法人宇都宮大学監事監査意見(報告)書及び監査報告(法令準拠書類)について

溝口監事及び富田監事から、資料9に基づき、令和3年度国立大学法人宇都宮大学監事監査意見(報告)書及び監査報告(法令準拠書類)について報告があった。

以上